

Ⅱ 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、
観光産業を振興する～

3 滞在型観光の定着

(9) ホテル誘致

(10) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

4 魅力ある観光地づくり

(11) 奈良県観光総合戦略の実行

(12) 奈良公園中枢地プロジェクト

(文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備)

(13) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

(14) 平城宮跡歴史公園の整備

(15) 中町「道の駅」の整備

(16) 自転車の周遊環境整備と安全利用

5 魅力向上・発信

(17) 食の振興

(18) 海外・東京プロモーションの展開

3 滞在型観光の定着

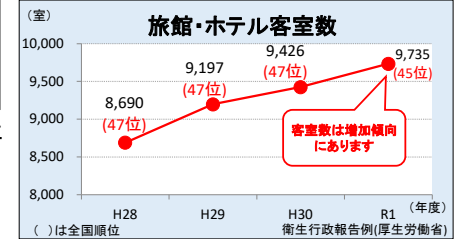
(9) ホテル誘致

資料12-1

ここまで良くなりました

近年増加傾向にあるホテル立地を更に加速させるため、令和3年度に奈良県宿泊施設立地促進補助金を創設しました。

滞在型観光をより一層促進するため、R7年度までに宿泊客室数を12,000室にする目標を設定し、目標達成に向け、県内にホテル・旅館を新築される事業者を対象として、R3年度に補助金を創設しました。



近年の県の誘致例



もっと良くするために

観光地競争に打ち勝つには、**ホテル客室数**をもっと増やすこと、**ホテルのバラエティ**を持つこと、**上質なホテル**も用意することが必要です。

<ホテル誘致の視点>

- 滞在型観光を促進するため客室数を増加
- 多様なニーズに応えるバラエティ
- 観光地奈良のブランド力を上げる上質ホテル
- 2025年の大阪・関西万博の開催を好機と捉えた誘致活動



R4.3 OPEN(予定) フェアフィールド・バイ・マリオット (なら歴史芸術文化村内)

これらの視点に沿って県内の**観光地**への**ホテル誘致**を進めます。

- 宿泊施設の新たな立地に対し補助
[債務負担行為 500百万円]
- 既存宿泊事業者等の宿泊施設の増改築等に対し補助 (22百万円)
- 奈良公園観光地域活性化特区内の宿泊施設の新設等に対し補助 (28百万円)
- JETRO奈良事務所と連携したホテル事業者の招聘及び誘致状況調査 (1百万円)
- 吉城園周辺の土堀・遊歩道整備等 (275百万円)
- 旧奈良監獄の整備に対し補助等 (33百万円)

令和4年度予算案 359百万円
[債務負担行為 500百万円]

(10) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

ここまで良くなりました

令和2年4月にコンベンションセンターがオープンし、大規模会議を誘致できるようになりました。新型コロナウイルス感染症の影響により国際会議の開催は限定的ですが、国内の開催可能な規模の催しや海外への誘致活動を継続的に行いました。

○コンベンション施設、観光振興施設、ホテル等が一体となった観光拠点としての利点を生かし、各種会議が開催されました。

○国内の会議を誘致するほか、海外の要人に対するPR活動など、海外に対しても誘致活動を展開しました。



医学学会開催の様子

感染症対策を徹底しながら、天平広場を活かした各種の集客イベントを開催しました。

○多目的広場を活用して、土日を中心に賑わいの拠点となるイベントを開催しました。



天平広場を活用したイベント

もっと良くするために

ポストコロナを見据え、大規模国際会議などの開催誘致を推進します。

○「第7回UNWTO(国連世界観光機関)ガストロミーツーリズム世界フォーラム」を開催(203百万円)

○2023年G7関係閣僚会合の開催を目指した誘致活動の他、各種国際会議、大規模会議の開催を誘致するため、県、ビジターズビューロー等による誘致活動を展開(20百万円)

○(新)コンベンション施設としての利便性の向上(9百万円)
・需要の増加しているハイブリッド会議に対応するため、Wi-Fi環境を強化



第6回UNWTOガストロミーツーリズム世界フォーラム(ベルギー・ブルージュ)

周辺観光の拠点となる賑わいを創出します。

○煌びやかなイルミネーションや季節感を演出した各種イベントや、飲食を含めたイベントの開催など新たな賑わいを創出(193百万円)



天平広場でのスケートリンク(イメージ)

MICE誘致を活用して県内各地への訪問客を増加させます。

・交流拠点全体のタウンマネジメント協議会を定期的に開催
・奈良らしさを感じられるユニークベニュー(寺社等での会議・レセプション開催)を開発

令和4年度予算案 425百万円

4 魅力ある観光地づくり

資料12-2

(11) 奈良県観光総合戦略の実行

ここまで良くなりました

リニア中央新幹線の「奈良市附近駅」の設置をはじめとする、長期的な社会背景の変化の中で目指すべき姿を定めた上で、新型コロナウイルス感染症のような短期的な課題事象にも適時に対応できる、実効性ある具体的施策として、「奈良県観光総合戦略」を令和3年7月に策定しました。

○おもてなしの心をもって「観光資源を磨きあげて(＝内を固めて)、その魅力を広めていく(＝外に出る)」ことを基本スタイルに、「世界中に名を馳せる観光地・奈良」の実現に向け施策を展開

<目指す姿>

総合：観光振興の土台づくり

「ここにしかない魅力であふれる観光地・奈良」

「いつ来ても快適な観光地・奈良」

「選ばれる観光地・奈良」



もっと良くするために

奈良県観光総合戦略(～2025年度)を着実に推進します。

○戦略に基づき、事業者、県、市町村等の各観光振興実施主体の積極的かつ主体的な取組や、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の観光、持続可能な観光の観点を重視した取組を推進します。

県内各地域で、観光振興の土台づくりを進めます。

○市町村、観光協会、DMO、観光関連事業者等との地域の対話の場づくり・UNWTOの専門的知見を活用した持続可能な観光地づくりの調査研究(12百万円)

○(新)地域の核となる人材の育成、地域観光の課題解決に向けたシンポジウム等の開催(12百万円)

快適な滞在環境整備を推進し、周遊拠点として泊まりたい奈良を目指します。

○宿泊等割引キャンペーン(いまなら。キャンペーン)を実施し、県内宿泊・観光を促進(1,270百万円)

○タクシー利用型観光地づくりの推進に向けた、タクシー事業者や市町村観光協会との連携(4百万円)

奈良の自然・歴史・文化資源や食の魅力を守り、創り、磨き上げます。

○(新)市町村等による「観光資源を磨きあげ(＝内を固め)る」事業に対し補助(30百万円)

○第7回ガストロミーツーリズム世界フォーラムを開催し、レガシーを創出(203百万円)

奈良の多様な魅力を発信し、何度でも訪れたい奈良を目指します。

○「飛鳥・藤原」世界遺産登録に関連する歴史的催事やガストロミーツーリズムを契機とした誘客プロモーションの展開(183百万円)

○鉄道事業者と連携した奥大和の魅力発信(20百万円)

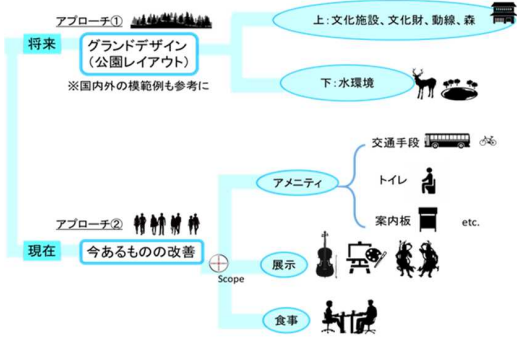
令和4年度予算案 1,734百万円

ここまで良くなりました

奈良公園中枢地における文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備のためのプロジェクトを立ち上げ、有識者(文化振興戦略懇話会)の意見を参考に、部局横断的な検討を開始しました。

文化的魅力の強化

- 薨別館の新たな活用
- 奈良県文化会館、県立美術館の整備
- 伝統文化の振興



文化を活かした観光振興

- ガイド、コンシェルジュ育成
- より多くの誘客につながる案内



奈良県外国人観光客交流館(猿沢イン)

エリアの魅力向上に資する環境整備

- 奈良公園周辺地区のホテル整備
 - ・R2年5月に瑜伽山園地が開園
 - ・R2年6月にふふ奈良がオープン



瑜伽山園地 (旧山口氏南都別邸庭園)

瑜伽山園地の宿泊施設 (ふふ奈良)

- ぐるっとバスの運行
 - ・大宮通り、奈良公園、若草山麓ルートの3路線で運行
 - ・R3年4月から大和西大寺駅南口に乗入れ



ぐるっとバス大宮通りルート (大和西大寺駅南口)



ぐるっとバス若草山麓ルート

- 奈良公園バスターミナルの運営改善
 - ・R1年4月に奈良公園バスターミナルがオープン
 - ・県営奈良めぐり平城宮跡前駐車場(宮跡南側)を駐機場として有効活用



奈良公園バスターミナル



県営奈良めぐり平城宮跡前駐車場

- 奈良公園をゆっくり楽しんでいただけるよう「ウイズコロナ」でイベント展開
 - ・ならまち遊歩、きたまちという等



ならまち遊歩



きたまちという

ストーリーを紡ぎ、新たな魅力を生み出し、アメニティを改善することで、奈良公園のワクワク感を高めます。

文化的魅力の強化

奈良公園内における文化の展示力向上関係事業をパッケージ展開し、文化の集積感やワクワク感を向上させます。

- 奈良公園内における文化の展示力向上(18百万円)
 - ・文化的な利活用のために薨別館のあり方を検討
 - ・来訪者が奈良公園の文化をより体感してもらうしかけとして案内を充実
 - ・議会棟壁面に県立美術館収蔵品等を掲示
 - ・文化振興戦略懇話会を継続実施

奈良県文化会館の整備を行います。

- 文化会館整備工事実施設計を実施(150百万円)

文化を活かした観光振興

文化を活かした観光案内を行います。

- 猿沢インや観光インフォメーションセンター等でのストーリーのある観光案内の実施
- 地域通訳案内士やボランティアガイド等十分な知識をもち、観光客の興味をひき、伝えることができるガイドの育成・活用



奈良県文化会館の整備(イメージ)

エリアの魅力向上に資する環境整備

奈良公園の風情に調和した宿泊施設の整備を促進します。

- R6年中にホテル運営開始予定の旧奈良監獄ホテルの整備を支援(33百万円)
- 吉城園周辺の土壌の修景、遊歩道整備等を行い、名勝の価値を向上(275百万円)



旧奈良監獄ホテル(イメージ)



吉城園周辺地区の整備(イメージ)

奈良公園のさらなる魅力向上に努めます。

- 鹿苑の整備、移動円滑化の社会実験(320百万円)
- 植栽整備、春日山原始林の保全(181百万円、R3-2月補正12百万円)
- 奈良のシカの保護・管理



鹿苑の整備(イメージ)

奈良公園の水環境を改善します。

- 猿沢池・鴛池: 流入水量増加により水質を改善(117百万円)

奈良公園周辺の交通環境改善に努めます。

- 奈良公園バスターミナルのさらなる運営改善(338百万円)
- ぐるっとバスの利用促進(227百万円)

魅力的なイベントにより四季を通じて楽しみ、観光客・地域住民双方が満足する奈良公園を目指します。

- 奈良公園にぎわいイベント
- 奈良公園バスターミナルイベント(8百万円)



鴛池(除湿装置の設置) 猿沢池(整備10年後のイメージ)

令和4年度予算案 1,667百万円
令和3年度2月補正予算案 12百万円

(13) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

ここまで良くなってきました

大宮通りの景観改善に努めてきた結果、花壇やイルミネーションが整備され、おもてなし空間の創出につながりました。これらの情報や県の取組などを周辺住民のご理解を得てさらなる充実を図るため、**大宮通りジャーナルを発行**しました。



花壇整備 (油阪交差点) 花壇整備 (二条大路南5丁目交差点) 鹿のイルミネーション (油阪交差点) 地域の皆様による花壇の植付

○大宮通りで地域の皆様や沿道企業の方々から花壇の植付やゴミ掃除のボランティア活動をしていただいております。とても感謝しています。

観光地奈良公園の玄関口にもかかわらず、不便で雰囲気が悪いなどの評判を改善するため、**交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会**を重ね、**近鉄奈良駅前広場整備**に向けて、広場の基本計画をまとめました。



○近鉄奈良駅前広場の透明の屋根の整備、バスロケの整備、ぐるっとバス停の設置、県ポスター掲示を美術館ポスターに入れ替え等を進めるとともに、**景観・環境整備の進め方**について検討してきました。

もっと良くするために

大宮通りの**景観・環境整備**を引き続き進めます。(63百万円)

街路樹イルミネーションや旧知事公舎、西方寺の白壁ライトアップ等、光量増量を図り、より一層大宮通りを明るく彩ります。



大宮町周辺 旧知事公舎 西方寺周辺

JR高架橋の歓迎文字「ようこそ奈良へ」を目立たせる工夫をします。

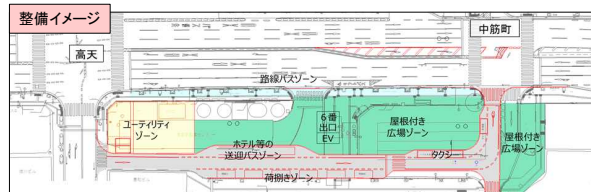


花壇の植付やゴミ掃除など、地域の皆様に協力していただける大宮通りを目指して、**景観・環境整備を進めます。**



近鉄奈良駅前の**景観・環境整備**を地元商店街・地元自治会の人々と協力して、引き続き進めます。(35百万円)

- 駅前にふさわしい空間整備のための広場の基本設計・建物の基本計画を実施
- 交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会を開催
 - ・有識者を講師に招き、目指すべき近鉄奈良駅周辺の空間設計を推進



勉強会の様子

令和4年度予算案 98百万円

(14) 平城宮跡歴史公園の整備

資料12-4

ここまで良くなってきました

西側に続いて、**東側や南門の整備を進めて**きました。**宮跡南側においても朱雀門ひろばと一体感のある公園整備を進めています。**

〈西側の整備〉



朱雀門ひろば 復原遣唐使船

〈平城宮跡歴史公園の整備の状況〉



平城宮跡南側地区 南門 朱雀大路東側地区 令和4年春完成予定

- 第一次大極殿南門
H29年度から国が工事着手し、R4年春の完成に向け、整備を推進
- 朱雀大路東側
「歴史体験学習館」の整備を推進。R2年12月に整備計画を策定し、体験・交流内容等のコンテンツや整備施設に関する基本計画を検討
- 宮跡南側整備
R2年度に新規事業化。R2年12月に積水化学工業(株)から用地を取得し、基本計画を策定。R4年度の整備計画策定に向け、整備方針や導入機能について検討。R3年10月に一部を仮設駐車場として供用開始

もっと良くするために

南門は令和4年春に完成します。

○引き続き「東楼」の整備促進を国に要望していきます。



南門 令和4年春完成予定 第一次大極殿 H22完成 東楼 整備促進 要望

南側は朱雀門ひろばと一体となった公園の整備を行います。

○歴史公園の正面玄関として、平城京のスケールを感じられる空間や休憩施設、便益施設等を整備します。(152百万円) [債務負担行為 25百万円]

一層のにぎわいと誘客促進に向けて、魅力ある催しを実施します。

○季節ごとに魅力あるイベントを開催します。(天平祭春・夏・秋) (135百万円)

○R4年春には、第33回全国「みどりの愛護」のつどいの開催を予定しています。(53百万円)

東側の「歴史体験学習館」は令和7年度の完成を目指しています。

○歴史、宝物、暮らし・文化をテーマとした「歴史体験学習館」の整備を推進します。「宝物体験エリア」では、正倉院を意匠化した施設の整備を予定しています。(373百万円) [債務負担行為 9百万円]



歴史体験学習館のイメージ



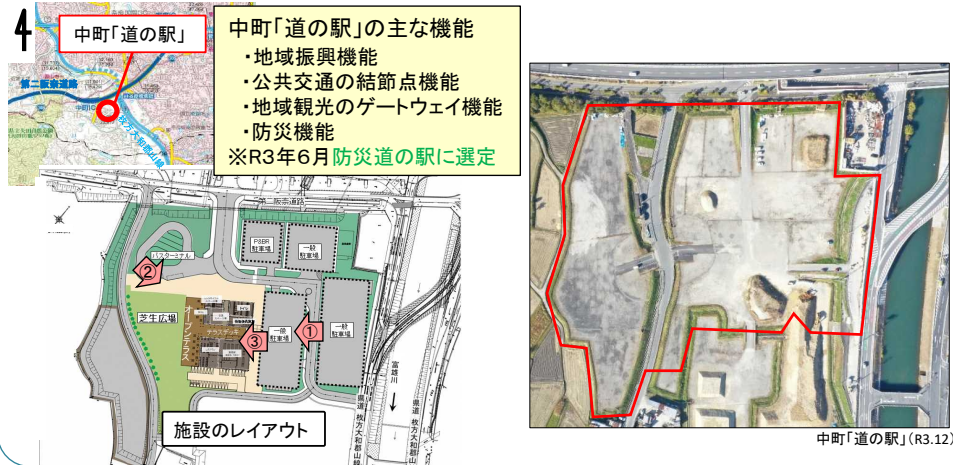
天平祭・夏 天平祭・秋

令和4年度予算案 713百万円
[債務負担行為 34百万円]

(15) 中町「道の駅」の整備

ここまで良くなってきました

建築物の基本・実施設計を進めるとともに、令和4年1月に造成工事に着手しました。



もっと良くするために

令和5年度のオープンに向けて整備を進めます。

- R4年度から建築工事に着手
- 直売所、レストラン、カフェ等の管理運営を行う指定管理者を選定し、道の駅を中心とした地域の賑わいづくりを推進
- 道の駅内のバスターミナルへの路線バスや空港バス等の乗り入れ実現に向け、引き続き交通事業者と協議を実施



令和4年度予算案 690百万円 [債務負担行為 2,100百万円]
令和3年度2月補正予算案 42百万円

(16) 自転車の周遊環境整備と安全利用

資料12-5

ここまで良くなってきました

令和3年4月に京奈和自転車道(京都嵐山～奈良～和歌山港 総延長約180km)が繋がりました。

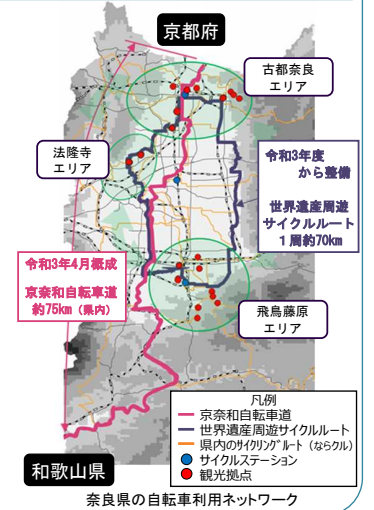


世界遺産周遊サイクルートの整備に着手しました。

○R3年度から、案内誘導サイン等の設計を実施

自転車の安全で適正な利用促進等を推進しました。

- 駅頭啓発でのチラシ配布、SNSによる呼びかけ、YouTube配信等様々な啓発活動を実施
- 「自転車の安全利用促進フォーラム2021」を開催、自転車の安全利用等をテーマとしたパネルディスカッション等を実施



もっと良くするために

自転車利用ネットワークの構築と環境整備を図ります。
(302百万円 [債務負担行為 40百万円]、R3-2月補正予算 5百万円)

- 世界遺産周遊サイクルートのうち、古都奈良エリア、法隆寺エリア、飛鳥藤原エリアの各エリア内に、案内誘導サイン等の設置を推進
- 利用者の声を聞き、走行環境の改善など自転車走行環境の充実



引き続き、奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例を推進します。(1百万円)

- 保険加入義務や高齢者のヘルメット着用の必要性等について広報啓発を行うとともに、自転車安全教室等を通じて交通安全教育を実施

令和4年度予算案 303百万円 [債務負担行為 40百万円]
令和3年度2月補正予算案 5百万円



ここまで良くなってきました

食の振興の更なる高度化に向けて取組を始めました。

- ガストロミーツーリズムの推進
 - ・国際シンポジウム2022(R4.1)開催
- 奈良県農畜水産物ブランドの売り込み



第6回世界フォーラム(ベルギー・ブルージュ © World Tourism Organization (UNWTO))



老舗果物専門店でのPR

県産加工品について、奈良まほろば館でテストマーケティングを行っています。

- 奈良まほろば館や奈良のうまいものプラザで県産食材や農産加工品の販売や情報発信
- 奈良県初のワイナリーの設置に向けた支援

各地で食の振興に取り組んでいます。

- 奈良のおいしい食の魅力の創造と発信(県内のオーベルジュ12店舗を紹介)
- 奈良フードフェスティバルの開催
- 食と農の賑わい創出(食と農の体験を実施)
- NAFICにおいて「食の担い手」と「農の担い手」を育成



ポータルサイトの制作



子ども体験教室



厳選された奈良の商品が並ぶショップ



もっと良くするために

奈良の食のブランド力をさらに進化させます。

- 農畜水産物ブランド認証の推進(2百万円)
 - ・奈良県プレミアムセレクトを、奈良のうまいものプラザや東京の老舗果物専門店でのPR
- 奈良まほろば館での県産食材や農産加工品等の情報発信(25百万円)
 - ・ショップやレストラン「TOKi」で県産食材等の魅力を発信し、ブランド力を構築



県産食材を味わえるレストラン「TOKI」

奈良の食を楽しむ機会の更なる拡大を進めます。

- (新)おいしい県産食材の活用促進(8百万円)
- (新)県内飲食店の魅力発信(38百万円)
 - ・「ミシュランガイド奈良2022特別版」の活用
- 県内オーベルジュの食の魅力発信(4百万円)
- 大規模な食イベント(奈良フードフェスティバルの継続支援等)による地域活性化(8百万円)
- NAFICとBCC*(バスカリナーセンター)との連携協定締結(8百万円)
 - ※BCC...スペイン・バスカ地方にある世界的な4年制の料理専門学校
- UNWTO世界フォーラム開催を契機として、ガストロミーツーリズムを県内外に浸透させる取組を展開(203百万円)
- (新)食と農の魅力発信や地域活動の支援(10百万円)
 - ・NAFIC附属セミナーハウスやなら歴史芸術文化村での食と農の魅力発信
- 奈良県初のワイナリーの設置に向けた支援(R4年夏以降より醸造予定)

令和4年度予算案 306百万円

ここまで良くなってきました

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、県内や周辺エリアから段階的に観光誘客を展開しています。また、海外に対して奈良の魅力を継続的に発信しています。

首都圏における奈良県の魅力発信と誘客促進をより一層強化するため、「奈良まほろば館」を令和3年8月に東京都港区新橋に移転しました。

- 交通事業者と連携したプロモーションを展開し、近隣エリアからの誘客を図りました。



聖徳太子没後1400年を契機としたプロモーション



正面エントランス



1階ショップ

もっと良くするために

民間交通事業者等との連携により、首都圏や県内を中心に積極的な広報・宣伝を展開します。また海外に対しては、ポストコロナを見据え、奈良の魅力を積極的に発信します。

「奈良まほろば館」を活用して、観光・食・特産品等の魅力の浸透や、県の認知度及びブランド力の向上に向け、首都圏での情報発信を強化します。

- 「飛鳥・藤原」世界遺産登録に関連する歴史的催事やガストロミーツーリズムを契機としたプロモーション(183百万円)
 - ・鉄道駅等を活用した広域広報
 - ・ツーリズムエキスポ等旅行博でのPR
 - ・周遊キャンペーン等

- ショップでの奈良の特産品の販売や、レストランでの「おいしい奈良の食」の提供の充実等による魅力発信や誘客促進を強化(188百万円)

- 奥大和の魅力発信(20百万円)
 - ・駅構内でのイベント開催
 - ・魅力発信ポスターの駅掲出
 - ・奥大和地域への旅行商品の造成



奥大和地域への誘客プロモーション

- 中国・欧米豪市場のメディア・旅行会社等に対する「知られざる奈良の魅力」の情報発信(10百万円)
 - ・SNSを活用した継続的な情報発信
 - ・メディア現地視察・ファムトリップ等

- ・歴史伝統や生産者の思いを感じられる物産、農産物等のPRと県産食材を活用した食を提供

- ・県内事業者の商品のチャレンジ販売等により、埋もれた商品を発掘し、売れる商品づくりを支援

- ・多様なイベントや高精細動画等による奥深い奈良の魅力や観光情報の発信



チャレンジ販売(まほろばチャレンジリーグ)

- ポストコロナを見据えた海外誘客プロモーションの強化(10百万円)

令和4年度予算案 411百万円